

# 闇と夢 ピーター・シスの

Peter Sís :  
Labyrinths  
and  
Dreams



Happy Children

- 展覧会名：ピーター・シスの闇と夢  
会場 市立伊丹ミュージアム  
会期： 2023年4月14日（金）-6月11日（日） 問い合わせ先：TEL 072-772-5959（代表）  
休館日： 月曜日（ただし祝日の場合は開館、翌平日は休館） 開館時間：10:00-18:00（入館は17:30まで）  
主催： 市立伊丹ミュージアム〔伊丹ミュージアム運営共同事業者 / 伊丹市〕  
後援： チェコ共和国大使館、チェコセンター東京 特別協力：エリック・カール絵本美術館  
協力： プラハ現代美術センター DOX、Labyrint 企画協力：株式会社イデッフ  
観覧料： 一般 1,000円、大高生 700円、中小生 400円

## 展覧会概要

共産党統治下のチェコスロヴァキア（現：チェコ共和国）に生まれ、自由を求めてアメリカに亡命した絵本作家ピーター・シス（1949年生）。世に送り出した30冊近くの絵本はコールドコット・オナー賞など数々の絵本賞で称えられ、多くの人びとを魅了しています。故郷の思い出を描いた『三つの金の鍵 魔法のプラハ』や『かべ 鉄のカーテンのむこうに育って』などの代表作をはじめ、小さな子どもたちのためにつくった絵本、広い世界を旅した英雄への憧れを込めた物語、そして、ダーウィンやガリレオなど抑圧に屈することなく意志を貫いた偉人たちの伝記絵本と、その表現はさまざまです。シスはすべての絵本で、自分が歩んできた人生と自分自身を投影してきました。チェコスロヴァキアに生まれて「かべ」のなかで育ったこと、アメリカに移住し、「自分は何者か」と問いつづけたこと、その人生の旅路でみた自由、夢、真実、愛、冒険、探求、孤独を、物語につづったのです。2012年にはその功績が評価され、国際アンデルセン賞画家賞が授与されました。そして今も、シスは創作をつづけています。

本展では、アメリカに移住したのちに生み出した数々の絵本原画と資料に加えて、絵本作家となる前に冷戦下の旧チェコスロヴァキアで製作し、国際的な評価を得たアニメーションの原画や、新聞雑誌の挿絵、地下鉄や空港など公共の場のためのアートプロジェクトの作品など、約200点を紹介しながらシスの創作の軌跡を辿ります。影から光へとたどってきたシスが人生をかけてつむいだ、闇と夢が織りなす作品の数々をご覧ください。

## ピーター・シス略歴 (Peter Sís, 1949-)

映像作家の父親と芸術家の母親のもと共産党下の旧チェコスロバキアのブルノに生まれる。プラハの美術工芸学校とロンドンのロイヤル・カレッジ・オブ・アートで美術を学んだ後、アニメーション作家として活動。1982年、ロサンゼルスオリンピックの映画を製作するためチェコ政府から派遣されて渡米。その後オリンピックを東側諸国がボイコットしたため強制帰国を迫られるが、制作途中だったために帰国せず、そのままアメリカに亡命。以来、故郷と家族と離れ、新聞、雑誌、書籍、アニメーション映画と様々な分野で幅広く活躍。さらにアメリカの絵本作家モーリス・センダックの知己を得て絵本の制作を始める。アニメーション『Heads (頭)』1979年はベルリン国際映画祭で金熊賞を受賞。絵本はニューヨーク・タイムズ紙が選ぶ年間ベストテンに何度も選ばれ、『星の使者ーガリレオ・ガリレイ』と『かべ 鉄のカーテンのむこうに育って』はアメリカの優れた絵本に与えられるコールドコット・オナー賞を受賞。現在もニューヨークを拠点に活動中。

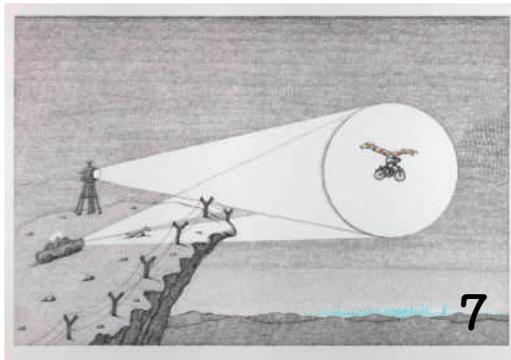
## 問い合わせ先

担当学芸員：岡本 梓 okamoto@itami-im.jp / TEL 072-772-7447  
広報担当： gakuhei@itami-im.jp / TEL 072-772-7447 / FAX 072-781-9090

市立伊丹ミュージアム  
TEL 072-772-5959



2  
三つの金の鍵 魔法のブラハ, 1994年



7



3  
星の使者-ガリレオ・ガリレイ, 1996年



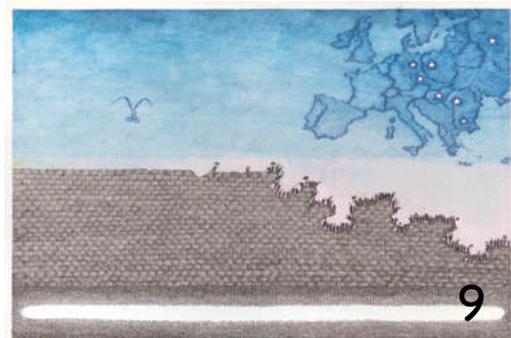
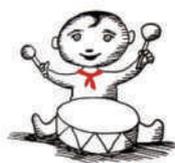
4



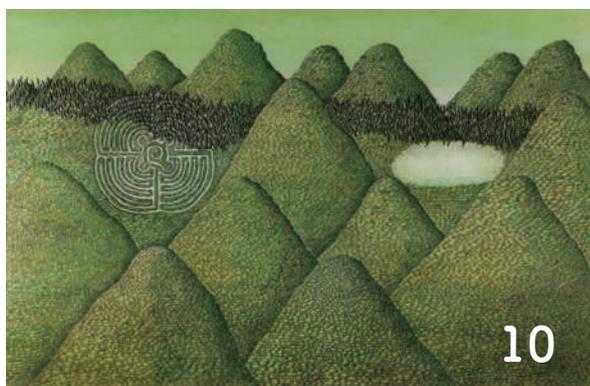
8



5  
チベット-赤い箱のひみつ, 1998年



9  
かべ 鉄のカーテンのむこうに育って, 2007年



10  
鳥の言葉, 2011年



6  
Flying Man



11  
飛行士と星の王子さま, 2014

## 広報用画像およびチケット掲載の申込書

市立伊丹ミュージアムにて開催する「ピーター・シスの闇と夢」にて、貴媒体での掲載にあたり画像をご入用の際は下記にご記入の上、FAX かメール : gakugei@itami-im.jp にてお申し込みください。

### 画像 (別紙プレスリリース参照)

※ご使用の際は下記キャプションとクレジットを明記してください。(スペース上難しい場合は「エリック・カール絵本美術館寄託」は無しでOK)  
 ※部分使用やトリミング、図版の上に文字を重ねるなどの処理は禁止されております。 ※掲載記事の提出をお願いします。

※最大5点までお選びいただけます

<input type="checkbox"/>	1	ピーター・シス 《Happy Children》 ©Peter Sis, エリック・カール絵本美術館寄託
<input type="checkbox"/>	2	ピーター・シス 《三つの金の鍵 魔法のプラハ》 ©Peter Sis, エリック・カール絵本美術館寄託
<input type="checkbox"/>	3	ピーター・シス 《星の使者ーガリレオ・ガリレイ》 ©Peter Sis, エリック・カール絵本美術館寄託
<input type="checkbox"/>	4	ピーター・シス 《星の使者ーガリレオ・ガリレイ》 ©Peter Sis, エリック・カール絵本美術館寄託
<input type="checkbox"/>	5	ピーター・シス 《チベットー赤い箱のひみつ》 ©Peter Sis, エリック・カール絵本美術館寄託
<input type="checkbox"/>	6	ピーター・シス 《Flying Man》 ©Peter Sis, エリック・カール絵本美術館寄託
<input type="checkbox"/>	7	ピーター・シス 《かべ》 ©Peter Sis, エリック・カール絵本美術館寄託
<input type="checkbox"/>	8	ピーター・シス 《かべ》 ©Peter Sis, エリック・カール絵本美術館寄託
<input type="checkbox"/>	9	ピーター・シス 《かべ》 ©Peter Sis, エリック・カール絵本美術館寄託
<input type="checkbox"/>	10	ピーター・シス 《鳥の言葉》 ©Peter Sis, エリック・カール絵本美術館寄託
<input type="checkbox"/>	11	ピーター・シス 《飛行士と星の王子さま》 ©Peter Sis, エリック・カール絵本美術館寄託

### 告知用のチケットプレゼント 名分 (最大5組10名)

※ メディアでのチケット告知用に限ります。必ず掲載記事を市立伊丹ミュージアムに提出することを提供条件とします。

※ 転売や違法売買は一切禁止いたします。不正が判明した場合、該当チケットは無効となります。

媒体名 :	掲載日 :
御社名 :	ご担当 :
Mail :	
TEL :	FAX :
住所 :	